

日時・場所	令和5年4月3日（月）10時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、西村教育長、遠藤議会事務局長、布施政策調整部長、川尻総務部長、長尾市民部長、武内市民部政策監、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、馬野教育部長、事務局

## 1. 開会

### <市長挨拶>

- 本日は令和5年度の年度始めの部長会議となる。昨年度の4人の部長の退任により、この会議のメンバーも大幅に変わり、新体制のもとで市政運営を行うこととなった。そこで、簡単に指示事項、私からのお願いを3点ほどさせていただきます。
- まず1点目、「職員の育成」について。  
今日は、部長会議の前に新規採用職員へ辞令を交付した。意気揚々と本日を迎えられたフレッシュな皆さんであるが、一方で不安もいっぱいだと思う。  
新採職員は、潜在的な能力の高い人が多くいる。職員に十分に実力を発揮できる職場を提供できるかどうかは、まさに所属長や部次長などの幹部職員の指導力にかかっていると思う。  
皆さんには、ぜひ明るい職場づくりと、新採職員に限らず全ての職員に対し、的確なアドバイスをしていただき、深い愛情をもって職員を育てていただきたい。
- 2点目、皆さんには日頃から速やかな「判断と決断」をもって、職務を遂行していただきたい。私も市長就任から2年半になるが、就任後、まず驚いたことは、内部協議で市長室に多くの職員が頻繁に来られることであった。その際、残念なことに、「こんなことが起こっているのですが、市長どうしましょう？」といきなり私に判断を仰ぐ職員も見受けられた。  
特に幹部職員の皆さんは、豊富な行政経験を持っているので、その経験を生かして、しっかりと協議案件を分析し適切な判断をした上で、一定の決断をもって内部協議に臨んでいただきたい。その決断にあたっては、相当の覚悟が必要なケースも出てくるとは思うが、その覚悟も聞きながら、最終的には私の責任のもとに決断し、方針決定する。  
判断力は情報力だと思う。正しい情報を常に共有していただきたい。  
また、「判断、決断」は職員との信頼関係を築くうえでも、非常に重要なスキルになると思う。
- 3点目、「円滑な市政運営への協力」について。  
私の任期も残すところ約1年半となり、ある意味、本年度はラストスパートの年だと思っている。野洲市の市政運営は、ご承知のとおり病院整備だけではない。  
昨年度は、ひとことで言って激動の1年ではあったが、職員のおかげで病院整備以外の施策も比較的順調に進めることができた。感謝の気持ちでいっぱいである。  
そして、本年度からは、スポーツや文化の一部が教育委員会から市長部局に移管され、国民スポーツ大会等の諸準備も進めていかなければならない。  
また、県立高等専門学校に係る国や県との調整、あるいは幹線道路の整備など、そのほかにも野洲市には数多くの課題が山積している。  
本年度は、これらの課題解決に向けて、みんなで知恵を出し合いながら、よりよき道筋をつける年度にしなければならないと思っている。  
いろいろ申し上げたが、本年度の円滑な市政運営に職員の協力をお願いする。

○先月 22 日には、WBC で栗山監督は、短期間でチームをまとめ上げ、ドラマティックに世界一強い日本を全世界にアピールされた。

私も栗山監督を見習い、職員と強い信頼関係が築ける組織づくりをしていきたいと思っているので、よろしくお願いします。

○最後に、幹部職員の皆さんには、各部の取りまとめ役として重責を担っていただき、日々心労が多いことかと思う。

最高の仕事は、最高の健康から生まれる。是非、日頃の健康管理に十分留意していただきたい。

以上、年度始めに当たり、私からの指示事項を兼ねたあいさつとさせていただきます。

## 2. 議題

【報告事項】

(案件なし)

## 3. 次回部長会議の予定

4月11日(火) 9時00分～ 庁議室

## 4. 閉会